豊前街道の街並み

豊前街道として知られる旧街道を行くと、山鹿の主要な歴史的建造物の多くがあり、商業と文化の中心としての町の活気に満ちた過去が分かる。元々、南は熊本城から、北は小倉港（現在の北九州市）まで本道が延びていた。江戸時代（1603–1867）、地方の大名藩主を1年交替で首都である江戸（現在の東京）に向かわせ、江戸で住まわせる政策である「参勤交代」の実施のため、豊前街道は栄えた。山鹿は、熊本市から北に向かう道にある最初の主要な停留場であったために、繁栄することとなった。

歴史と文化の本道

山鹿では、豊前街道が菊池川の河畔から町の中心部を通り抜けている。豊前街道沿いには、公衆浴場さくら湯、山鹿灯籠民芸館、八千代座など地元の主要な歴史的建造物が立ち並んでいる。菊池川は、江戸時代（1603–1867）の国内貿易にとって重要な水路であった。当時は、九州で収穫した米を大阪まで菊池川経由で運んでいた。山鹿の豊前街道では、造り酒屋や煎餅屋など米生産にかかわる商いが栄えた。江戸時代にできたいくつかのお店が今なお営業している。通りの建築や雰囲気から、数百年も前の地域住民の暮らしぶりを垣間見ることができる。

祭事が脚光を浴びる

豊前街道は行列が通る本道となっているため、豊前街道の周辺は、毎年行われる祭りの開催中特に活気にあふれる。4月に開催される山鹿温泉祭では、豊前街道では、ダンス、「太鼓」の演奏、その他の上演など熱烈な光景が見られる。8月に開催される山鹿灯籠まつりや2月に開催される山鹿灯籠浪漫では、通りは、何百もの色鮮やかな提灯、手製の傘、竹製のろうそく立てで埋め尽くされる。

豊前街道での休憩・娯楽

豊前街道には、ランチ、ディナーまたは昼のおやつを楽しむことができる多くのカフェやレストランがある。ここにある施設のいくつかは、郷土料理の「馬刺し」（薄く切った生の馬肉）を提供している。さくら湯の温泉、発酵食品専門店、伝統的な日本のお菓子を販売する店（「和菓子屋」）なども、この通りに並んでいる。

事前に予約すれば、豊前街道のガイドツアーを体験することができる。人力車に乗って探訪するツアーや、さくら湯や八千代座など、昔の街道沿いに立ち並び、歴史上有名な場所（旧跡）を訪ねるツアーがある。また、食べ物に絞ったツアーもあり、酒、味噌、煎餅などお米に関連する商品を味見することができる。山鹿のものづくり文化に興味があれば、地元専門店で開催されている相互体験やワークシ

ヨツプに参加して、人形、ミニ提灯、天然染織物などの作り方講習を受けることができる。